

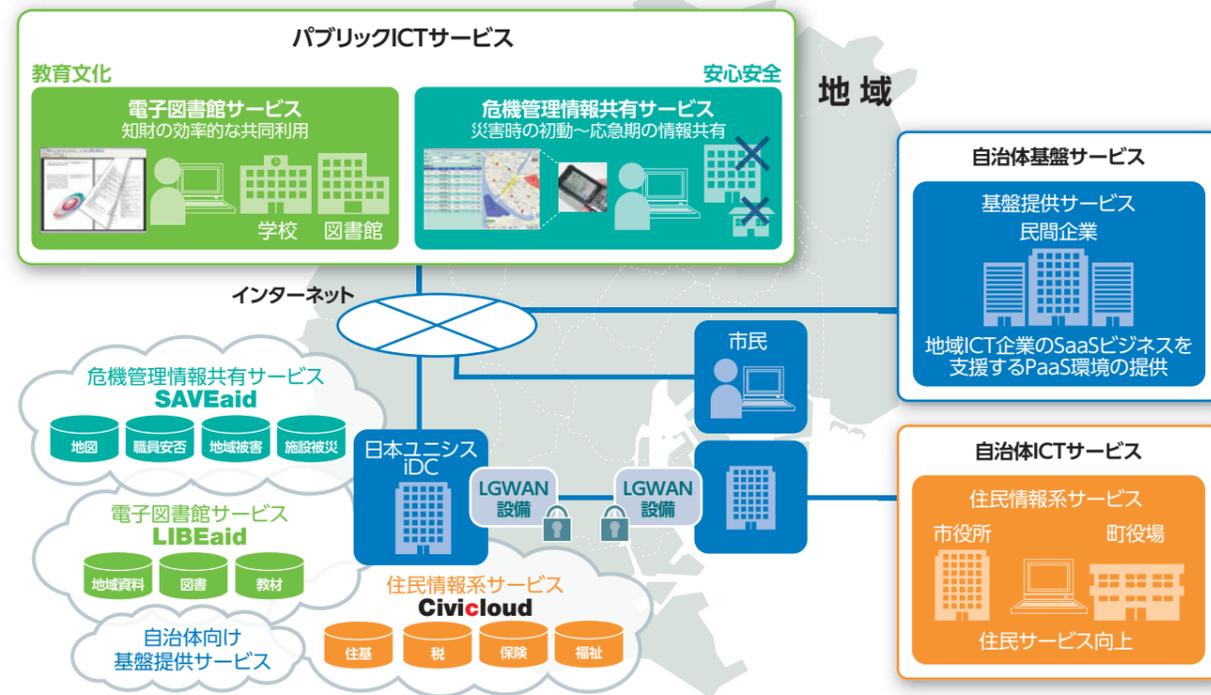
地域とのつながりを大切にするとともに 暮らしやすい地域社会をICTで実現

地域社会の発展に貢献する 自治体クラウド「地域ICTサービス」

現在、地方自治体は、少子化・高齢化の進展による医療・福祉サービスの充実や、携帯電話やインターネットの普及による住民の生活スタイルの変化など、さまざまな環境の変化への対応を求められています。一方で景気低迷による税収減少などによって、コスト削減はどこの自治体にも常にある課題です。

日本ユニシスは、こうした課題の解決策の一つとして、「クラウドで地域にリーズナブルな革新を」をコンセプトにしたクラウド型地域ICTサービスを提供しています。下図の通り、さまざまな分野でのサービスがあり、コスト削減や業務効率の向上に加え、住民サービスの充実による暮らしやすい社会の実現を支援しています。

地域ICTサービスの全体像



被災地域の復興をICTで支援

日本ユニシスは、このたびの東日本大震災で被災された地域の自治体に向けて、自治体向けクラウドサービスを無償で利用していただける「特別プログラム」を提供し、被災者の救済と自治体業務の復旧を支援しています。

また日本ユニシスグループは、文部科学省の「東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト」の開設を、クラウドサービスの無償提供を通じ支援しています。ポータルサイトは、例えば「教職員を派遣してほしい」「学用品が足りない」といった被災地域からの支援要請と、全国の地方公共団体・教育委員会・学校・企業・NPOなどの人的・物的支援を結びつけ、支援が円滑に行われることをめざして作成されたものです。これまでに多くの支援が実現しています。

「豊洲キレイにし隊!」から地域連携へ

本社周辺の清掃活動「豊洲キレイにし隊!」は、2004年7月に社員の提案で始まりました。2006年からは芝浦工業大学様、2007年からは「こらぼら」※1 所属の企業や「豊洲2・3丁目まちづくり協議会」※2が加わり、現在は毎月1回、十数団体、200～300名が参加する豊洲全域での合同清掃活動に発展しています。また、地域清掃活動は本社地域



だけでなく、支社店など全国の拠点にも広がっています。日本ユニシスグループは、清掃活動にとどまらず、地域イベントへの参加、携帯電話やインターネットを子どもたちが安全に利用するために必要な知識を伝える「e-ネット安心講座」※3の実施などを通じて、地域との関わりを深めてきました。さらにこのたびの東日本大震災を経て、地域との新たな共生の形を模索しています。

※1 こらぼら: 「江東区社会貢献ネットワーク」の愛称。2006年発足。江東区に事業所がある企業・大学・団体が構成され、地域への社会貢献のための情報交換などを行うことを目的に活動している。東日本大震災直後は、BCPIに関する意見交換も行われた。

※2 豊洲2・3丁目まちづくり協議会: 再開発にあたり、豊洲地区全体の課題への迅速な対応や統一的な街並みの形成を目的に設立。都市計画に関する協議・調整、まちづくりガイドラインの策定とその運用を通じて、地区全体で調和のとれた質の高い都市空間の形成をめざしている。

※3 e-ネット安心講座: 日本ユニシスグループは、総務省・文部科学省と通信業界団体から構成される「e-ネットキャラバン協議会」に協力し、同協議会の主催する「e-ネット安心講座」に社員ボランティアを講師として派遣。2010年度、本社のある東京都江東区では江東区教育委員会と6カ所の小・中・高等学校で実施。

近隣企業さまから

住民のみなさんの声を伺って、地域連携を進めていきましょう

豊洲での64年間にわたる当社の造船業を支えてくださったのは、地域の方々でした。工場はなくなりましたが、いま、豊洲の再開発は「つくる」から「育てていく」という大切な段階。今後もさまざまな企業・団体、いろいろな世代の地域住民のみなさんと広く交流を深め、じっくり時間をかけて街をより活性化していけたらと考えています。

日本ユニシスをはじめ、企業同士の交流は始まったばかりですが、東日本大震災を経て、地域交流のやり方も、清掃やイベントだけでなく、災害時の連携などにも目を向け、万が一の時に、みなさんとのつながりで街やそこに住み、働く人々を守っていけたらと思うようになりました。災害が起こった時、場所の提供など、IHIは、日本ユニシスは何かできる、という情報が地域で共有されていれば、みなさんの安心感違うのではないのでしょうか。

とはいえ、顔と顔がわかっていることで初めて、より良いコミュニケーションが生まれます。いざという時に声を

かけあえる環境をつくっていくためにも、日々の清掃活動や地域イベントでの連携、「こらぼら」「まちづくり協議会」などの住民の方や近隣の企業の方と交流の機会が大切だと感じています。清掃活動などは単独でやっても効果は同じかもしれませんが、一緒にやることで、別の会社であっても同じ地域の一人であるという、横のつながりの実感がもてると思うのです。

これからも住民のみなさんの声を伺いつつ、地域連携を進めていきましょう。

赤堀 日出夫 様

(株)IHI 都市開発セクター



お客さまやメンバーから信頼され、一歩先を考えて行動できるように——人とのつながりを大切に、社会のために自分や会社がすることは何かを考え、行動していきたいです。

(株)トレードビジョン 成岡 智

働きやすく、環境保全に配慮した職場環境を築きあげることで、グループ全体の生産性向上やお客さま満足度の向上、社会貢献に寄与していきたいと思っています。

日本ユニシス・ビジネス(株) 井手 邦彦

